

運動で糖尿病を予防・改善するために

福岡大学スポーツ科学部 助教

木戸 康平



let's access

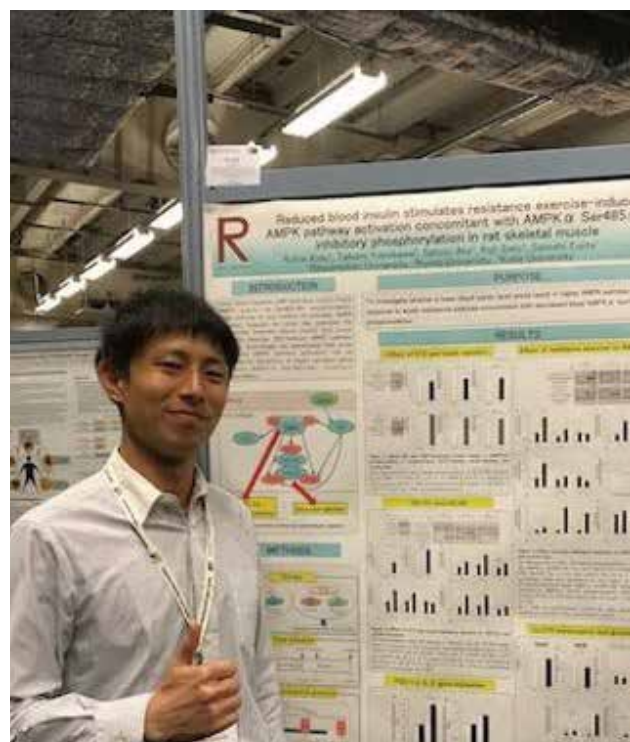


この QR コードを読み取ると
インタビュー動画を
視聴することができます



この QR コードを読み取ると
博士学位論文に
アクセスできます

学位授与の年月 2018 年 3 月
学位論文のタイトル レジスタンス運動・トレーニングに伴う糖代謝亢進メカニズムの 探索
指導教員名 藤田 聡
研究領域 運動生理・生化学
キーワード 運動・血糖コントロール・骨格筋



学位取得を
目指した
きっかけ

研 究に興味を抱いたのは、学部生の時でした。入学当初はアカデミアで生きていくという選択肢すらなかった私ですが、研究者として世界レベルで活躍されている先生方から教育を受けることで、研究に興味を持つことはもはや必然でした。そして、医療に何かしらの形で貢献したいという思いから、運動と糖代謝の研究を始めました。研究の世界に身をおくことを学部 4 回生で決断して以降、がむしゃらに研究に邁進し、博士取得、そして現在に至るまで全力で走り続けています。

在学中

研 究環境に大変恵まれ、先輩・同期・後輩と切磋琢磨しながら毎日研究に勤しみました。幸いにも、博士課程後期課程在学中には日本学術振興会特別研究員 DC1 に採択され、資金援助を受けながら経済面に不安を抱えることなく研究活動に集中することができました。

学位論文では、レジスタンス運動（筋力トレーニング）が骨格筋の糖代謝を亢進するメカニズムに着目し、様々な視点から研究を重ねました。また、得られた研究成果は国内外の学会にて発表し、最終的には国際誌へ掲載することで広く世界に知見を周知してきました。

現在

博 士課程後期課程修了後は、日本学術振興会特別研究員 PD として京都大学・大学院人間環境学研究所にて研究員として着任しました。また、同時期に国際共同研究を実施するためにコペンハーゲン大学に 2 年弱滞在し、世界最先端の研究手法を学ぶと共に、ヒトや動物を対象とした糖代謝研究に従事しました。本共同研究は、論文報告等の成果をもたらしただけでなく、今後国際的な研究協力を実施する基盤の構築にもつながりました。

現在は、京都大学・コペンハーゲン大学を経て、スポーツ科学分野で長い歴史のある福岡大学スポーツ科学部に助教として着任し、教育・研究活動に邁進しています。これまでとは異なり、学生を指導するという立場から個人ではなくチームで新たな発見を目指しています。

将来像

私 は、充実した研究環境と教育指導を受けることで、今日まで絶やすことなく研究を続けることができています。今後は教員として、自分がこれまで受けてきた以上の指導を次の世代に行うとともに、学生から刺激を受けながら世界を牽引できる研究室を構築していきたいと考えています。

一緒に科学を発展させましょう！